



三重県議会議員 こうすけ

しもの幸助 県政レポート

2013年4月 春号 VOL.6



発行：三重県議会議員しもの幸助事務所 〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1 TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

県議会 報告

平成25年三重県議会定例会

平成25年1月17日～12月20日 / 338日間(通年制議会導入)

しもの 下野議員、一般質問に立つ!

三重県議会議員(鈴鹿市選出)

しもの こうすけ
下野幸助(36歳)

- 防災県土整備企業常任委員会 委員
- 予算決算常任委員会 委員
- 三重県議会広聴広報委員会 委員
- 三重県飲酒運転防止に関する条例検討会 委員

平成25年3月7日に平成25年三重県議会定例会において下野幸助議員が登壇し、一般質問(60分)を行いました。

一般質問の内容として、下記4項目について質問しました。

- ①三重県の経営方針
 - ②三重県障がい者雇用促進
 - ③三重県の生活保護制度について
 - ④学校における防災教育・防災対策の推進
- 詳しい内容につきましては、しもの幸助事務所までお問い合わせください。

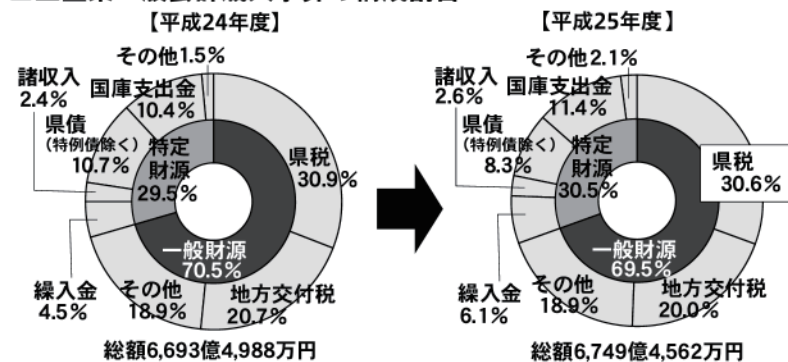


2013年3月7日一般質問(三重県議会本会議場)

1 三重県の経営方針

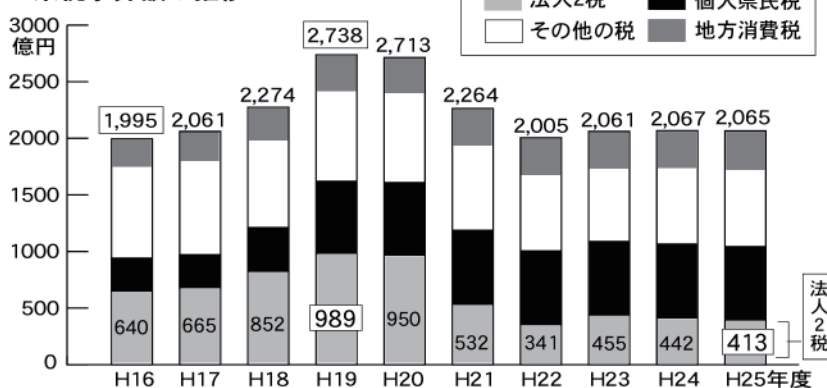
①三重県の歳入状況

■三重県一般会計歳入予算の構成割合



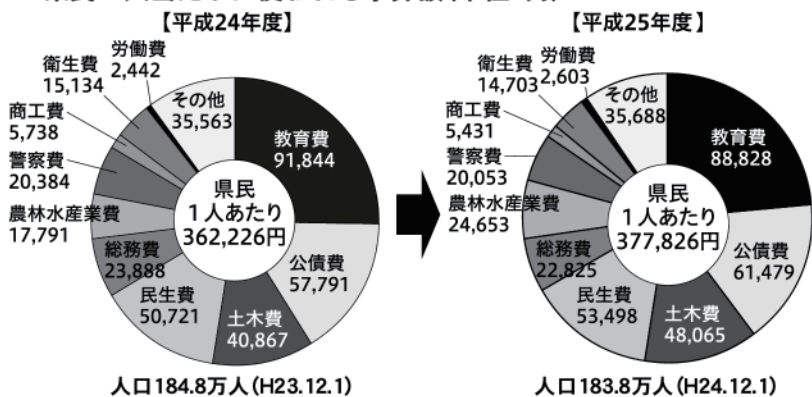
平成25年度歳入のうち、県税収入は歳入の30.6%を占めており、この県税が三重県民の生活を支える根幹となっています。その県税の10年間の推移を下図で見ますと、県税収入は平成16年の1,995億円から平成19年の2,738億円を頂点に増加し、その後、減少傾向となっています。県税収入では、法人2税(法人住民税、法人事業税)が大きく影響します。その法人2税は、平成19年度989億円を頂点に減少傾向で、平成25年度予算では平成19年度に比べ約6割減少の413億円の見込みです。この状況からみても、三重県の活性化には、企業の活力向上が不可欠となっています。

■県税予算額の推移



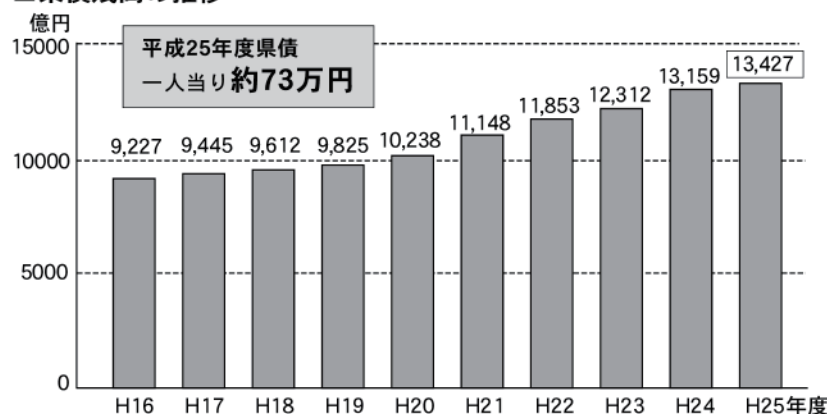
②三重県の歳出状況

■県民一人あたりに使われる予算額(単位:円)



③三重県の県債(借金)状況

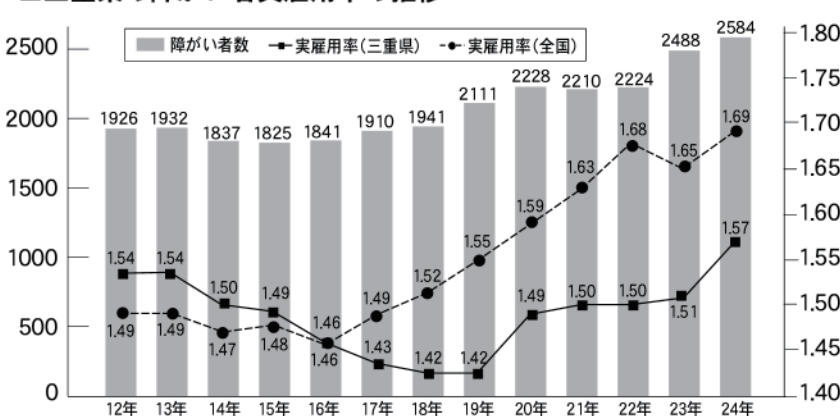
■県債残高の推移



県の借金、県債残高は、平成25年度当初予算で1兆3,427億円を見込んでいます。これは県民一人当たり約73万円の借金ということになります。全国的に厳しい財政状況ですが、三重県の将来負担比率(都道府県別)は平成19年に全国上位6位でしたが、平成23年には17位と低迷しています。県債発行をより抑制し、健全で筋肉質な財政体質が求められます。

2 三重県障がい者雇用促進

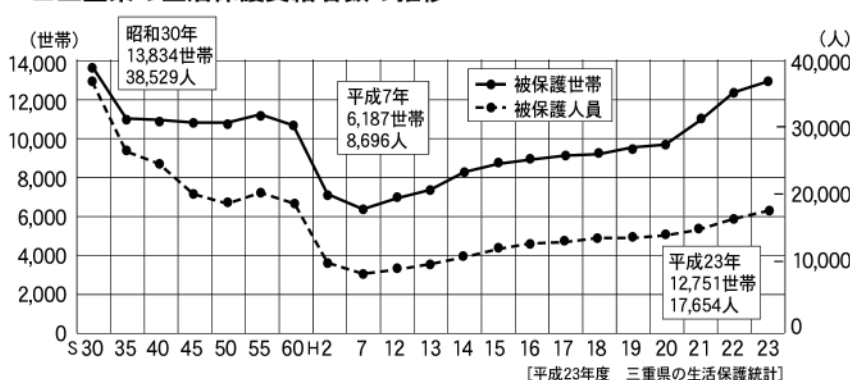
■三重県の障がい者実雇用率の推移



三重県の障がい者の実雇用率は平成24年6月1日現在、1.57%で、全国45位、実雇用率の低い県となっており、全国平均1.69%に比べると低い水準となっています。

3 三重県の生活保護制度について

■三重県の生活保護受給者数の推移



三重県の生活保護受給者数の推移をみると、平成に入ってから徐々に増加し、ここ数年で急増し、現在約1万7千人となっています。平成23年度の全国平均と三重県の比率をみると、国1.62%、三重県では0.95%となっており、県民100人に対して約1人の生活保護受給者が居る状況です。

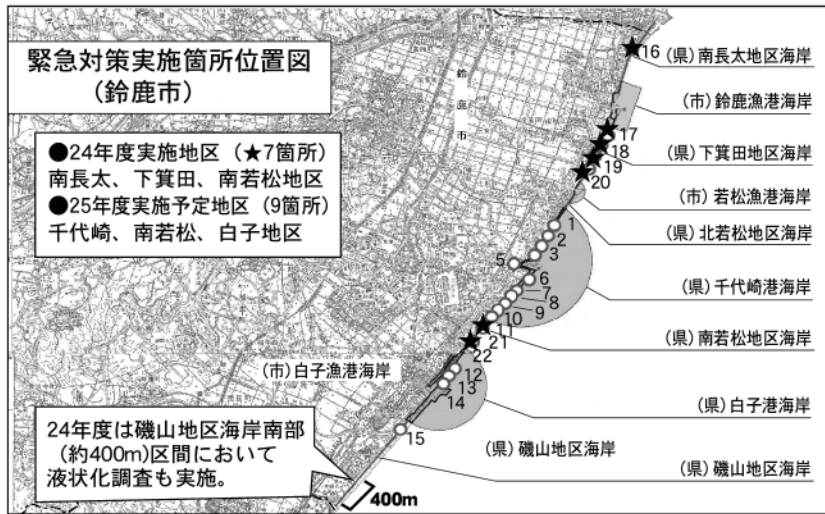
1 防災

A 堤防の改良事業・液状化調査継続

(平成24年度～平成27年度 4年間計画)
三重県では堤防緊急改良対策として、堤防の改良工事を行っています。鈴鹿市内では4年間かけて空洞化、ひび割れ等(1箇所最大延長100m)実施予定です。



2013年4月1日下箕田地区海岸



B 一級河川 浪瀬川(鈴鹿市) 災害関連事業の取り組み



2013年2月1日浪瀬川現場視察



平成24年9月30日台風17号による豪雨(最大1時間雨量101mm)により、一級河川浪瀬川が氾濫し、道路や護岸等の被害を受けました。

- 事業の名称
 - 一級河川浪瀬川(その1) 河川災害関連事業
 - 一級河川浪瀬川(その2) 河川災害関連事業
- 所在地
 - (その1) 三重県 鈴鹿市 木田町～石薬師町 地内(約2.34km)
 - (その2) 三重県 鈴鹿市 石薬師町～下大久保町 地内(約1.34km)
- 事業費
 - 一級河川浪瀬川(その1) 河川災害関連事業 4.2億円
 - 一級河川浪瀬川(その2) 河川災害関連事業 2.7億円
 - 全体事業費 6.9億円
- 事業内容

再度災害を防止するため、今回被災を受けた箇所及び未災箇所を含む一連の施設について、災害復旧事業費に改良費を加えて、河道の拡幅、脆弱施設の改良を行います。

2 みえ県議会広聴広報会議 出前講座(小学生対象)

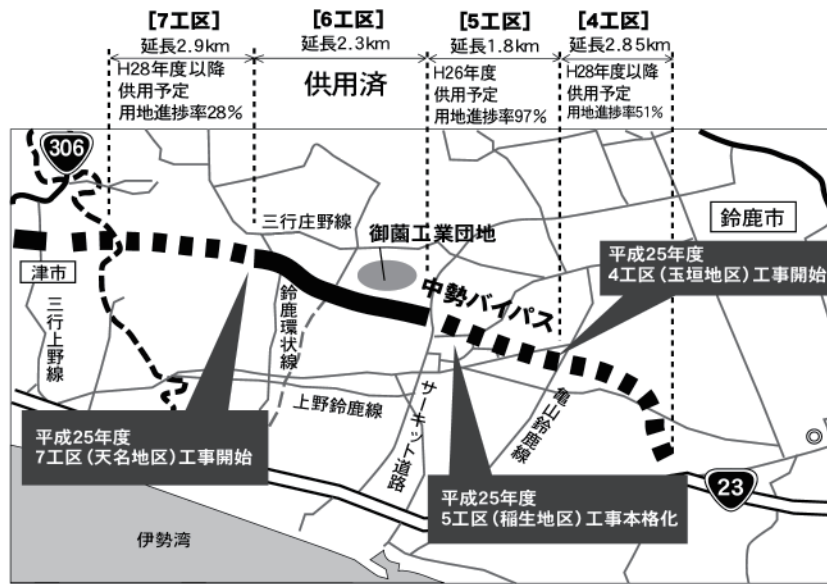
三重県議会広聴広報会議では、県議会をより身近に感じていただき、将来の住民自治を担う県民としての意識を育成することを目的に、県議会議員が地域に出向く「出前講座」を行っています。2月7日に松阪市立東黒部小学校、2月8日に四日市市立常盤西小学校の小学生児童に三重県議会のしくみについて、DVDやパワーポイントなどの資料を使いながら説明させて頂きました。



2013年2月8日四日市市立常盤西小学校出前講座の様子

3 国道23号中勢バイパス事業進捗状況

現在、国道23号中勢バイパスの鈴鹿地区における事業の進捗状況は下図の通りです。中勢バイパスの整備により国道23号および周辺道路の交通量が減少し、交通渋滞の減少・交通事故の減少が期待されます。また、中勢バイパスの供用の進展につれて、御園工業団地の立地企業数が増加しています。



4 三重県障がい者雇用の推進



2013年2月12日KIZUNA Cafe(奈良県)視察

このKIZUNA Cafeは奈良県・経営者団体・労働団体(連合奈良)・福祉団体が連携した障害者雇用促進センターが運営しているカフェレストランです。

■障がい者の実雇用率(都道府県別)

順位	都道府県名	実雇用率
3	奈良	2.15
40	愛知	1.61
41	茨城	1.59
41	栃木	1.59
41	群馬	1.59
41	新潟	1.59
45	石川	1.57
45	三重	1.57
47	秋田	1.56

5 三重県観光キャンペーン

平成25年に神宮式年遷宮、平成26年に熊野古道世界遺産登録10周年を控え、本県への注目がますます高まることが予想されます。この機会をチャンスと捉え、県民の皆さんや市町、企業等と一体となった「三重県観光キャンペーン～実はそれ、ぜんぶ三重なんです！～」が平成25年4月から3年間展開されます。本キャンペーンでは、三重の観光の「予感(旅への期待感)」を醸成し、来訪者の方々の周遊性・滞在性を向上させ、魅力的な三重の旅を「体感(滞在中の体験)」いただき満足度を高め、再び三重を訪れたいという「実感(あとから湧き上がる感動)」につなげていきます。そのことにより、三重の魅力を深く理解していただく「三重県観光の共感者(三重ファン、リピーター)」を増加させ、神宮式年遷宮後も多くの観光客が継続的に訪れていただける魅力あふれた観光地を構築することを目指します。



2013年3月2日美ましおこし三重



皆様からのご意見をお待ちしています。お気軽にご連絡ください。

■しもの幸助プロフィール

- 1976年11月 鈴鹿市に生まれる 36歳
- 1983年 3月 私立第二さくら幼稚園 卒園
- 1989年 3月 鈴鹿市立白子小学校 卒業
- 1992年 3月 鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 卒業
- 1997年 3月 国立鈴鹿工業高等専門学校電気工学科 卒業
- 1999年 3月 国立豊橋技術科学大学電気・電子工学課程 卒業
- 1999年 4月 国立サウスバンク大学 英国留学(聴講生留学)
- 2001年10月 内閣官房(国家公務員/内閣事務官)
- 2008年 3月 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 修了(MBA取得/経営学)
- 2008年 3月 アイシン精機株式会社経営企画室入社
- 2010年11月 同社退社
- 2011年 4月 三重県議会議員選挙で初当選(鈴鹿市)